

(1) 概要

- 要約筆記講習会<全3回>を開催して参加者41名（前年度比+9名）、初級音訳講習会<全11回>を開催して参加者8名（前年度比+3名）、初級手話<全35回>を開催して参加者16名（前年度比±0名）であった。
- 3月に「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催した。今年度は、監督自身の重度知的障害者の弟にカメラを向けた「僕とオトウト」の映画上映会を企画・開催したこと、申込方法を見直したこともあり、参加者は57名（前年度比+29名）であった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	各種講習会（要約筆記・音訳・手話）の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○要約筆記講習会を全3回実施して、参加者は41名（前年度比+9名）であった。 ○初級音訳講習会を全11回実施して、参加者は8名（前年度比+3名）であった。 ○初級手話講習会を全35回実施して、参加者は16名（前年度比±0名）であった。
2	障害者等の理解促進に係る啓発事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○12月に箕面保育園園児の皆さんの交流（福祉車両体験、クリスマスツリーの飾り付け、演奏会）を実施した。 ○3月に「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催した。今年度は、監督自身の重度知的障害者の弟にカメラを向けた「僕とオトウト」の映画上映会を企画・開催したことや、申込方法を見直したこともあり、参加者は57名（前年度比+29名）であった。
3	茶道・華道教室、各種講習会（要約筆記・音訳・手話）の新規受講者開拓	<ul style="list-style-type: none"> ○茶道教室（受講者9名）、華道教室（受講者6名）は毎年受講者が固定されている状況のなか、新規受講者の開拓に向けて広報活動に取り組んだところ、茶道教室に新たな受講者2名を迎えることができた。
4	館内の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な目的での施設利用が増えるなか、利用者アンケートからも利用環境整備の要望があり、女子トイレや身障用トイレの便器の改修（暖房便座の取り付け）などを行った。 ○館内の設備・物品の状態の確認、不要物品の整理を半年ごとに実施した。
5	駐車場の改善の検討・協議	<ul style="list-style-type: none"> ○駐車場スペースの拡大はこれ以上物理的に難しいなか、白線外に駐車する方への声かけなど、混雑緩和や事故防止に向けてできることに引き続き取り組んだ。

(3) 今後について

- 引き続き、各種講習会、地域交流、障害者に関する啓発事業等を継続的に実施していく。
- 新たな指定管理期間（10年）を見据えて、設備・備品・物品等の管理、更新等の館内環境整備について検討・協議を行っていく。

(4) ささゆり園利用状況

	令和5年度	令和6年度	前年度比
開館日数	320日	317日	99.0%
利用件数	1,575件	1,575件	100.0%
利用件数/日	4.9件	5.0件	102.0%
利用者数	18,233名	18,988名	104.1%
利用者数/件	11.6名	12.1名	104.3%
利用者数/日	57.0名	59.9名	105.0%

事業名	令和5年度		令和6年度		前年度比 (人数比)	
	件数	人数	件数	人数		
障害者社会参加促進事業	41	283	39	372	131.4%	
[内訳]	①茶道教室	21	131	20	234	178.6%
	②華道教室	20	152	19	138	90.8%
ボランティア育成事業	48	621	49	639	102.9%	
[内訳]	①手話講習会「入門・基礎課程」	35	513	35	462	90.1%
	②音訳講習会<令和6年度：初級>	10	76	11	107	140.8%
	③要約筆記講習会	3	32	3	70	218.8%
啓発事業（障害者問題市民講座）	1	28	1	57	203.6%	
貸館事業	1,485	17,301	1,486	17,920	103.6%	
[内訳]	①障害者団体	766	10,088	740	9,918	98.3%
	②ボランティアサークル	420	4,107	398	4,081	99.4%
	③外郭・行政関係	188	2,330	242	3,166	135.9%
	④その他	102	767	103	752	98.0%
	⑤IT室	9	9	3	3	33.3%
合計	1,575	18,233	1,575	18,988	104.1%	

※会議室等使用団体数(令和7年3月31日現在)

- ・定期利用団体：39団体（前年度比 -6団体）
- ・随時利用団体：7団体（前年度比 ±0団体）
- 【合計】 46団体（前年度比 -6団体）

(1) 概要

- 4月に医療的ケアが必要な新規利用者1名の受け入れを行ったが、事前の協議・調整を行い、年間通して安定利用してもらうことができた。
- 医療的ケア対応強化のために看護師3名/日から4名/日体制に増員するとともに、支援における訪問看護や医療機関との連携に取り組んだ。
- 利用者の入院等の長期化・重複化に伴い、平均利用人数は13.7名（前年度比▲2.4名）となった。平均利用人数減の影響で介護給付費収入は7,035万円（前年度比▲934万円）、収支差額は▲1,074万円（前年度比▲1,097万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	多様な活動による支援の実施	○5月に5グループに分けて安満遺跡公園、10月に7グループに分けて神戸須磨シーワールドでの園外活動を実施した。
2	延長支援の実施	○個別支援計画に基づき利用時間を延長した支援を男性3名に実施した。また、その時間を活用して嚙下機能トレーニング等も実施した。
3	入浴支援体制の見直し	○日中活動に重点を置き入浴サービス日や開始時間等を随時調整した。 ○入浴希望者に対して他の社会資源（ホームヘルパー、訪問入浴）の情報提供を行った。
4	第三者評価の結果を受けた改善の取り組み	○マニュアルの見直し、掲示物の掲示方法の見直しなどを実施した。
5	介護職員による喀痰吸引等の実施	○新規利用者に医療的ケアを実施するため、喀痰吸引研修（実地研修）を6～7月に実施した。 ○新たに2名（介護職員、添乗員）が基本研修を受講し、異動してきた職員も含めて実地研修を行い、利用者10名に対して4行為の医療的ケアが新たに実施できるようになった。 ○上記研修実施により、生活支援員等17名が喀痰吸引等を実施できる体制となった。
6	虐待防止・サービス向上の取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、研修実施などにより次回のセルフチェックでの改善につなげた。 ○12月に法人全体で開催した虐待防止研修に33名（他部署職員含む）の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援などについて考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハットの内容を分析し、その対応について9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに、施設内で共有した。 ○市内の医療機関と連携し、施設内での歯科検診（6月）、健康診断（7月）、インフルエンザワクチン接種（11月）を実施した。
7	感染症対応の強化	○11月に感染症認定看護師による感染症対策研修を実施した。支援現場での感染症対策の取り組みに関する講義と実技による指導を受けて、指導に基づく更なる感染症対策の取り組みの改善に取り組んだ。 ○年間を通して職員、利用者ともに感染症の罹患はみられたが、園内で蔓延することはなかった。
8	医療的ケアのある利用者の地域生活支援の検討	○医療的ケア対応強化のために看護師3名/日から4名/日体制に増員するとともに、支援における訪問看護や医療機関との連携に取り組んだ。
9	利用者確保・利用率向上・収入増に向けた取り組み	○4月に新規利用者1名の受け入れを行ったが、年度途中に利用者1名の逝去により、年度末の利用契約者数は23名（前年度比±0名）となった。 ○利用者の入院等の長期化・重複化に伴い、平均利用人数は13.7名（前年度比▲2.4名）となった。 ○平均利用人数減の影響で、介護給付費収入は7,035万円（前年度比▲934万円）、収支差額は▲1,074万円（前年度比▲1,097万円）となった。
10	新規利用者の受入対応	○4月に医療的ケアが必要な新規利用者1名の受け入れを行ったが、事前の協議・調整を行い、年間通して安定利用してもらうことができた。

(3) 今後について

- 高まる医療的ケアニーズへ対応できるよう、引き続き看護師体制や生活支援員等による支援体制の強化に努めていく。
- 収支状況の改善に向けて、利用率向上による収入増、支出削減等に取り組んでいく。

(4) 主な活動内容

- ①行事等（プール、園外活動、忘年会、クリスマス会、年度末イベント等）
- ②健康活動（エクササイズ、足浴、エアマット、ハンモック、スノーズレン、健康診断等）
- ③創作活動（さをり織り、組み紐、ボードゲーム作成、季節ごとの展示物作成等）
- ④文化活動（音楽演奏、カラオケ、コンサート、ボウリング、ポッチャ、園芸活動等）
- ⑤屋外活動（個別外出、地域活動、清掃活動等）
- ⑥作業活動（空き缶つぶし等）
- ⑦専門職による相談・指導（作業療法士・嘱託医への相談、音楽療法等）

(5) 医療的ケアの実施状況（令和6年度 利用対象者15名）

内 容		人数	内 容		人数
たんの吸引	口腔内	14名	酸素投与（緊急時含む）	2名	
	鼻腔内	11名	人工呼吸器管理	3名	
	気管カニューレ内部	8名	カフアシスト	1名	
経管栄養	胃ろう	8名	ブジー	1名	
	腸ろう	2名	浣腸（摘便）	2名	
	経鼻胃管	3名	留置カテーテル	1名	
経管による与薬	胃ろう	5名	導尿	2名	
	腸ろう	1名	合 計（延べ人数）	69名	
	経鼻胃管	2名			
吸入	3名				

(6) 在籍者状況（令和7年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
令和6年度	23名	40.9歳	12.1年	73.4%	13.7名	
令和5年度	23名	42.5歳	12.0年	85.2%	16.1名	
令和6年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	23名	0名	0名	0名	0名	0名

(1) 概要

- 利用者1名の長期入院・自宅療養に伴い、給付費収入は126万円（前年度比▲28万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	サービスの質的向上	○ヘルパー3名に対して、利用者の身体状況の変化などに応じて介護技術指導を実施した。
2	入浴設備更新の検討	○普通浴槽など入浴設備の老朽化が進んでいることから、設備の更新について箕面市と協議を行った。
3	入浴支援体制の見直し	○利用者が固定化・長期化するなか、必要に応じて他の社会資源の情報提供や調整を行うが移行する利用者はいなかった。また、新規利用希望者もなかった。
4	入浴ヘルパーの確保	○ホームページ等でスタッフ募集をかけるなど継続的に募集の取り組みを行ったが、入浴ヘルパーの新規採用には至らなかった。 ○入浴ヘルパーだけで対応できない部分は生活介護事業の職員で対応した。
5	利用者増に向けた取り組み	○利用者1名の長期入院・自宅療養に伴い、給付費収入は126万円（前年度比▲28万円）となった。

(3) 今後について

- 入浴設備の点検を行うとともに、箕面市と協議しながら必要に応じて設備の更新を行っていく。
- ヘルパーに対する新任研修及び介護技術指導の実施により、サービスの質の向上を図っていく。

(4) 施設入浴サービス利用状況

	令和5年度	令和6年度	前年度比
実施日数	243日	243日	100.0%
利用者数	385名	315名	81.8%
利用者数/日	1.6名	1.3名	81.3%

西小路拠点区分事業活動明細書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		管理運営事業ささゆり園	生活介護事業ささゆり園	入浴サービス事業ささゆり園	社会福祉増進事業ささゆり園	合計	内部取引消去	拠点区分合計	
収 益	障害福祉サービス等事業収益	12,369,480	96,873,812	1,260,000	0	110,503,292	0	110,503,292	
	自立支援給付費収益	0	70,352,200	1,260,000	0	71,612,200	0	71,612,200	
	特定費用収益	0	878,255	0	0	878,255	0	878,255	
	その他の事業収益	12,369,480	25,643,357	0	0	38,012,837	0	38,012,837	
	経常経費寄附金収益	0	25,300	0	0	25,300	0	25,300	
	経常経費寄附金収益	0	25,300	0	0	25,300	0	25,300	
サービス活動収益計(1)		12,369,480	96,899,112	1,260,000	0	110,528,592	0	110,528,592	
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 用 部	人件費	6,872,233	94,380,870	708,750	0	101,961,853	0	101,961,853	
	職員給料	839,706	38,391,216	0	0	39,230,922	0	39,230,922	
	職員賞与	213,098	8,656,377	0	0	8,869,475	0	8,869,475	
	賞与引当金繰入	101,065	3,935,239	0	0	4,036,304	0	4,036,304	
	非常勤職員給与	2,369,703	15,797,023	708,750	0	18,875,476	0	18,875,476	
	派遣職員費	2,617,272	15,045,925	0	0	17,663,197	0	17,663,197	
	退職給付費用	37,104	2,835,801	0	0	2,872,905	0	2,872,905	
	法定福利費	694,285	9,719,289	0	0	10,413,574	0	10,413,574	
	事業費	0	6,638,681	85,597	0	6,724,278	0	6,724,278	
	給食費	0	623,080	0	0	623,080	0	623,080	
	保健衛生費	0	467,844	0	0	467,844	0	467,844	
	教養娯楽費	0	6,737	0	0	6,737	0	6,737	
	日用品費	0	242,902	0	0	242,902	0	242,902	
	本人支給金	0	32,613	0	0	32,613	0	32,613	
	水道光熱費	0	1,969,064	85,597	0	2,054,661	0	2,054,661	
	消耗器具備品費	0	465,428	0	0	465,428	0	465,428	
	保険料	0	159,344	0	0	159,344	0	159,344	
	賃借料	0	417,600	0	0	417,600	0	417,600	
	教育指導費	0	132,206	0	0	132,206	0	132,206	
	車輦費	0	2,121,863	0	0	2,121,863	0	2,121,863	
	事務費	6,374,475	5,659,179	685,843	0	12,719,497	0	12,719,497	
	福利厚生費	34,120	252,291	0	0	286,411	0	286,411	
	旅費交通費	200	32,590	0	0	32,790	0	32,790	
	研修研究費	0	186,500	0	0	186,500	0	186,500	
	事務消耗品費	363,357	403,397	0	0	766,754	0	766,754	
	印刷製本費	217,162	31,497	0	0	248,659	0	248,659	
	水道光熱費	2,225,919	0	0	0	2,225,919	0	2,225,919	
	修繕費	80,850	63,756	0	0	144,606	0	144,606	
	通信運搬費	169,381	329,193	0	0	498,574	0	498,574	
	広報費	0	13,200	0	0	13,200	0	13,200	
	業務委託費	2,017,381	3,054,225	685,843	0	5,757,449	0	5,757,449	
	手数料	0	108,313	0	0	108,313	0	108,313	
	保険料	12,860	363,949	0	0	376,809	0	376,809	
賃借料	0	97,020	0	0	97,020	0	97,020		
租税公課	1,411	153,974	0	0	155,385	0	155,385		
保守料	334,334	373,274	0	0	707,608	0	707,608		
渉外費	0	22,600	0	0	22,600	0	22,600		
報償費	917,500	173,400	0	0	1,090,900	0	1,090,900		
減価償却費	0	1,093,196	0	0	1,093,196	0	1,093,196		
減価償却費	0	1,093,196	0	0	1,093,196	0	1,093,196		
サービス活動費用計(2)		13,246,708	107,771,926	1,480,190	0	122,498,824	0	122,498,824	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-877,228	-10,872,814	-220,190	0	-11,970,232	0	-11,970,232	
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	その他のサービス活動外収益	89,263	480,208	0	0	569,471	0	569,471	
	利用者等外給食収益	0	480,208	0	0	480,208	0	480,208	
	雑収益	89,263	0	0	0	89,263	0	89,263	
	サービス活動外収益計(4)		89,263	480,208	0	0	569,471	0	569,471
	その他のサービス活動外費用	0	349,872	0	0	349,872	0	349,872	
利用者等外給食費	0	349,872	0	0	349,872	0	349,872		
サービス活動外費用計(5)		0	349,872	0	0	349,872	0	349,872	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		89,263	130,336	0	0	219,599	0	219,599	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		-787,965	-10,742,478	-220,190	0	-11,750,633	0	-11,750,633	
特 別 増 減 の 部	拠点区分間繰入金収益	0	2,818,389	0	0	2,818,389	0	2,818,389	
	拠点区分間繰入金収益	0	2,818,389	0	0	2,818,389	0	2,818,389	
	特別収益計(8)		0	2,818,389	0	0	2,818,389	0	2,818,389
	拠点区分間繰入金費用	0	2,818,389	0	0	2,818,389	0	2,818,389	
	拠点区分間繰入金費用	0	2,818,389	0	0	2,818,389	0	2,818,389	
特別費用計(9)		0	2,818,389	0	0	2,818,389	0	2,818,389	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		0	0	0	0	0	0	0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-787,965	-10,742,478	-220,190	0	-11,750,633	0	-11,750,633	
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額(12)	4,747,152	12,584,235	1,268,522	122,439	18,722,348	0	18,722,348	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	3,959,187	1,841,757	1,048,332	122,439	6,971,715	0	6,971,715	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	500,000	7,000,000	0	0	7,500,000	0	7,500,000	
	事業運営積立金取崩額	500,000	7,000,000	0	0	7,500,000	0	7,500,000	
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0	0	0	0	0	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		4,459,187	8,841,757	1,048,332	122,439	14,471,715	0	14,471,715	